

2011年度 ITと人権研究委員会 総括

I 活動内容・テーマ

インターネット掲示板への差別書き込みやネットいじめをはじめとした携帯、インターネットに関わる人権問題に対応するため、ホームルーム展開をみずえた教材や指導案の作成や、生徒の実態把握のために県全体で実施できるアンケートの作成を目指した。

II 取り組みの経過

回	日時・場所	内容
1	5月27日(金) 橿原市中央公民館	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各個人の目標や、「ITと人権」という内容に対しての思いや考えを発表し、意見交流した。 ○ インターネット・携帯アンケートについて、その内容などをどうしていくか。今後アンケート作成をしていく上での方向性や、その目的を検討した。次回までに試作アンケートを作成し、内容について改善していく。 ○ 人権啓発ビデオ「夕映えのみち」を視聴し、感想や、アンケートに生かせることがないか話し合った。
2	6月24日(金) 奈良県立教育研究所	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前回出された意見を元に試作したアンケートについて、質問の内容やその他変えるべきところがあるか、検討した。 ○ ネット・携帯に関する映像2作品「アクセスの代償」「あの空の向こうに」を視聴し、この作品から「人権」に関して生徒へ何を伝えられるかを話し合った。また、ホームルーム教材として使えるワークシートを作成することを確認した。
3	9月30日(金) 橿原市中央公民館	<ul style="list-style-type: none"> ○ アンケートについて、次回第4回の研究委員会で完成版が作れるように書式や用紙サイズも含めて話し合った。 ○ 夏期にあった、携帯・インターネットについての研修会の内容(須磨学園の取り組み)を情報共有した。 ○ 「アクセスの代償」についてのワークシートをどうするか。自分が加害者・被害者にならないように冊子や啓発できるものを作成できないか検討した。
研修	10月17日(月) 奈良県市町村会館 1F インターネットステーション	「インターネット掲示板差別書き込みについて考える」ということで、インターネットステーションで研修した。DVD視聴後、GoogleのストリートビューやYouTubeの水平社の差別街宣の動画、2ちゃんねるの書き込みなどを見て、実態を確認した。
4	10月28日(金) 奈良県解放センター	<ul style="list-style-type: none"> ○ アンケートについて、今回で完成版を作れるように検討した。 ○ インターネットに関する教材(冊子・DVDなど)の研究・協議をした。 ○ アンケートを高等養護の一部クラスで11月25日に実施する。 ○ 「安心インターネット、ライフ・ガイド」を参考に啓発パンフレットを作れるか、内容をどうするかなど検討した。
5	1月13日(金) 橿原公苑	<ul style="list-style-type: none"> ○ アンケートの最終チェックを行った。また、アンケートを行った学校から、その結果と現在の生徒の実態の報告があった。 ○ 今年度の総括と、来年度に向けての課題を検討した。

Ⅲ 本年度総括

本年度は、①アンケートの作成・②視聴覚教材のワークシートの作成を目指して研究を始めた。

アンケートに関しては全員が納得できるものが最終的に完成され、目標の1つを達成できたことが非常によかった。視聴覚教材のワークシートに関しては、映像作品の選定や方向性というものまでは話ができただものの、HRで使えるワークシートまでの作成はできなかったのが残念だった。

その他、ネットでの現在の人権問題や差別の実態を知る研修をもつことができたことや、アンケート・ワークシートのことだけに留まらず、人権教育部門で生徒への指導はどうしていきべきかなど、多様な内容で意見交流ができ、各人が「ITと人権」に対して考える機会を多く得ることができた研究会であった。

Ⅳ 今後の課題

- 視聴覚教材（「アクセスの代償」）を用いてのHRは、生徒も教師も反応がよかった。視聴覚教材のワークシートを作るなどして、HRで展開できる指導案を作成していきたい。
- 携帯・ネットに関するアンケートについて、継続して生徒の実態を見るためにも今年度作ったものを踏襲してやっていきたい。
また、実態調査ののち、その結果をいかに生徒たちに伝え、指導に生かしていくかを考えたい。
- 生徒がITに関してのトラブルに直面し、教師に相談してきたときの対応についてなど、ITと人権に関してもっと職員研修の機会がもてるようにしたい。
- 日々変化するITに関して、トラブルや人権侵害に関する問題も多様に変化している。時代の変化についていくためにも、常に新しい情報の収集が必要になってくる。それに伴い、アンケートや教材、研修なども修正・改善していくことが大切である。